



09

通巻 第2713号
2015年9月4日発行1960年創立
昭和35年2月5日第2510地区
重点課題

●2015-2016年度 IRテーマ

世界へのプレゼントになろう

2015-16年度IR会長

K. R. ラビンドラン

①クラブ戦略計画への支援

②新会員のフォロー支援

③クラブサポート強化

●本日 9月4日(金)のプログラム

◎「あの瞬間と今を語る」

やれること実行委員会代表 大橋真由美氏

●来週9月11日(金)のプログラム

◎クラブアッセンブリー

(9/25ガバナー公式訪問の為)

●再来週 9月19日(日)のプログラム

◎小樽銭函RC創立40周年記念式典・祝賀会

点鐘16:00～ 場所 グランドパーク小樽 5F

●第8回例会報告 8月28日(金) 「小樽の水道について」 小樽市公営企業管理者水道局長 飯田 俊哉氏 ●司会 廣瀬副会長

●ロータリーソング 「奉仕の理想」

●ゲスト・ビジターの紹介

飯田 俊哉氏 (小樽市公営企業管理者水道局長)
長谷川 晃氏 (京都東RC)

●パナー交換 長谷川 晃氏 (京都東RC)

夏は毎年暑い京都を逃げだして北海道で2ヶ月ほど過ごしております。小樽のロータリークラブに来るのは初めてのことです。9月には京都に戻る予定ですが、京都にはロータリーが20クラブほどあり、京都東は3番目にできたクラブとなります。来年が60周年となりますが、京都東の特徴は京都東山の麓にあって会合として使っているホテルはウェスティン都ホテル京都というところになります。会員数は100名ほどでメンバーには京都大学の先生やお医者さん、作家さん、陶器を作る芸術家などプロフェッショナルな方々の集まりなので、来ていただくとおもしろい方に会えると思います。ぜひ京都に来た際には当クラブにお越しください。



●会長の時間 廣部会長

先日、国際ロータリーより、ウェブサイトのMy Rotaryで委任ツールが利用可能になったと、メールで案内が届きました。これは、クラブ、地区、地域のリーダーが、オンラインでロータリーの手続きを行う権限を一時的に、ほかのロータリアンに委任できるというツールだそうです。これからは、My Rotaryでうんぬんという話が増えてくると思います。そこで、皆様へのお願いです。今年度の地区目標に、My Rotaryへの登録を進めるというのがあります。当クラブで、現在My Rotaryへ登録済みの方、地区へ人数を報告しなければなりませんので、挙手をお願いします(9人)。ありがとうございます。パソコンをやらなければならないのならロータリーをやめる、という方もいらっしゃると思います。無理強いはしませんが、できたら

登録を試してみてください。いくらでも、お手伝いいたします。

●幹事報告 坂口幹事

- ・おたる潮まつりへの協賛に対してお礼状が届いております。
- ・桂岡少年少女合唱団第37回発表会のご案内が届いております詳細につきましてはパネルに貼っておりますのでご高覧下さい。

●委員会・同好会報告

◎SAA委員会 佐藤(友)会員

先週に引き続きご案内とお願いです。SAAの役割の一つとして例会の出席人の把握が大切となっております。食事の数量を確認するため早い段階で人数の把握をしたいので、出席退会防止委員会と協議打ち合わせをした結果、例会受付にて名簿にチェックを記入して会場にお入りください。9月の第一例会から実施をいたしますのでご協力をお願いいたします。いろいろと問題が出てくると思いますが委員会で打ち合わせをして改善をしていきたいと思っております。

◎出席退会防止委員会 山村会員

本日にてテーブルでの出席確認が終了となります。今までの名簿に代わるものが入り口の受付のところで行われることとなります。記載については会員それぞれが自己責任で行うこととなります。メイキャップについても詳しく漏れの無いように書いていただくと助かります。点鐘と同時に出席の名簿はSAAの方から出席委員会へ渡りやすくなるので、そこで一旦出席の業務は切られます。点鐘後に出席される場合は、出席委員会に報告をしていただきますようお願いいたします。9月25日ガバナー公式訪問が、100%出席例会となりますので出席をお願いいたします。

◎広報情報真心委員会 工藤会員

8月7日フェイスブックをオープンいたしましたのでアクセスの方法を説明いたします。ヤフーを検索し、「小樽南ロータリークラブ」を検索すると3つの項目がでてきます。一番目は小樽南ロータリークラブのホームページ、二番目は湊会員のブログ、三番目にあるのが今回開設したフェイスブックになるので、「F」の大文字を開けていただくと中に入ることができます。



小樽の水道について

小樽市公営企業管理者水道局長

飯田 俊哉 様

昨年、小樽市の上水道は、大正 3(1914) 年の創設から 100 周年、下水道は、昭和 29 年の事業の着手から 60 周年を迎えました。上水道は「安全で安心な水」を安定的に供給するため、下水道は「汚れた水」を「きれいな水」に処理して海や川に放流しています。上下水道は、皆さんの健康や快適な生活環境を支える施設であり、先人が長年に渡り小樽の水道を築き上げてきました。本日は、小樽の水道について、昔の写真などを使いながら紹介したいと思います。



小樽水道のはじまりとなる奥沢水源地は、大正 3 年 9 月 30 日に完成し、約 100 年にわたって小樽の発展や市民生活を支えてきましたが、平成 23 年 8 月に、ダム堤体に陥没箇所が見つかり、

やむなく廃止しました。この写真は、創設時大正 3 年の貯水池で、取水塔と 2 連の管理橋（通称夫婦橋 めおとぼし）を、貯水池の上流側から撮影したものです。

創設時の階段式溢流路と水管橋の写真です。写真には、「小樽市水源地放水路と鉄管橋の壮観」と記載されています。水管橋は、貯水池から取水した原水を浄水場まで運ぶための鉄管（導水管）で勝納川を横断する



◆ ために設置したものです。なお、この水管橋は、平成元年に架け替えられました。

◆ 市内の消火栓は、配水池の系統別に色分けされています。例えば、火災発生時に、同じ配水池の系統からの消火栓を使用したことにより、配水池の水量不足とならないよう、消火活動を効率的に行うために、消火栓を色別管理したものです。現在、6 種類の消火栓が設置されています。

◆ 中央下水終末処理場は、昭和 59(1984) 年 4 月に供用開始しています。朝里地区から塩谷地区までの範囲の「汚水」を処理しており、市内の「汚水」の約 9 割を「きれいな水」に処理し、小樽港に放流しています。「汚水」を処理する過程で発生する「汚泥」は、セメントや堆肥の材料として有効活用されています。写真手前のモニュメントは、昭和 59(1984) 年に開催された小樽博覧会で使用された「フライングシャーク」を譲りうけたものです。



◆ 下水終末処理場では、「汚れた水」を「微生物」の働きにより、「きれいな水」にしています。この微生物を成分とした塊を「活性汚泥」と呼んでおりますが、反応タンクに酸素を供給することで、増殖して汚れを食べます。活性汚泥の中にいる微生物の大きさは 1 ミクロン 0.001mm から 1mm 位までいるいろいろな種類の微生物が汚れを食べています。

◆ 下水道 60 周年を記念して、下水道マンホールふたのデザインを新しくしました。昭和 62(1987) 年から採用していたラッコのデザインは、当時、小樽水族館で飼育され、人気のあったラッコをテーマとしたものでした。「小樽運河」をテーマとした新しいデザインは、「小樽らしさ」をモチーフに、長く親しみを持っていただけることやスリッパ防止を目的とする機能向上に留意して、好感度調査などを行い、採用しました。



◎終わりに

◆ 上下水道を取り巻く状況は、人口減少などにより、水需要の減少が想定されますが、安定した経営基盤の確立と老朽化した施設の計画的な更新、危機管理対策の充実などが求められています。今後も、これまで築き上げてきた上水道・下水道を将来の世代に引き継ぐことができるよう、さまざまな取り組みを進めます。市民の財産である上水道・下水道を、皆さんとともに、未来へつなげていきたいと考えております。

■出席委員会

◆平成27年8月28日

会員総数 73名 本日の欠席者 18名
荒田、荒木、浅村、大倉、太田、角野、佐藤(公)、坪井

永原、山吹、野村、盛、林、福井、前川、宮川、村越、山田
◆平成27年8月14日 休会

■メーカーキャップ

8/21 山田(旭川南RC) 8/28荒田、山吹(小樽RC)